

## 学校施設の改築を進めます (78億6,839万円)

適切な学習環境を確保できるよう、学校規模の適正化や老朽化の状況などを踏まえ、地域バランスを考慮しながら学校改築を進めます。

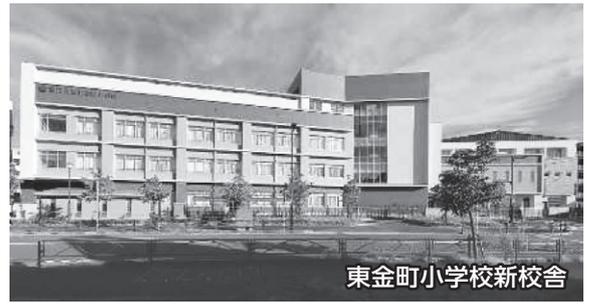
令和4年度は、引き続き改築・改修を進めます。

改築校

東金町小学校、高砂けやき学園高砂小学校・高砂中学校、水元小学校、道上小学校、二上小学校、よつぎ小学校(四ツ木中学校との施設一体型校舎を検討中)、宝木塚小学校、常盤中学校、柴又小学校

一部改築・改修校

西小菅小学校



東金町小学校新校舎

## 【拡大】学校施設のバリアフリー化 (1億6,186万円)

誰もが安心して学び、育つことができる教育環境の整備を推進します。

令和4年度は、小学校9校・中学校4校に備品のスロープを購入するほか、小学校2校にバリアフリートイレを設置します。



綾瀬中学校のスロープ (令和3年度設置工事)

## 教育情報化の推進 (17億7,444万円)

全ての区立学校において、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を推進していくため、1人1台のタブレット端末やネットワーク機器、ライセンスの借上げなどを行うとともに、全校にICT支援員を配置します。

令和4年度は、さらに教育委員会事務局内に教育情報アドバイザーを配置し、学校への指導・助言や校内体制強化に取り組み、全校で共通した教育情報化を進めます。

## 【拡大】かつしかグローバル人材育成事業 (1億2,902万円)

社会のグローバル化によって、語学力やコミュニケーション能力のある人材を育成することが、学校教育においてより一層求められています。「英語によるコミュニケーション能力」の育成

を計画的に行うことによって、これからのグローバル社会をたくましく生き抜く「豊かな人間力」を育成します。

令和4年度は、新たに、小学校及び保田しおさい学校の

5・6年生を対象に、体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」を活用した英語体験学習や、中学1年生を対象に年2回、タブレット端末や大型提示装置等を活用してオンラインにより海外の現地とつながる体験交流を実施します。

また、夏季休業期間中に福島県にある「ブリティッシュヒルズ」で、中学1・2年生100人を対象とした英語だけで生活する体験活動(イングリッシュキャンプ)や、葛飾教育の日を活用した「English Day」の実施、中学生英語検定料助成、地域英語教材の活用等も引き続き実施します。

※イングリッシュキャンプは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2、3年度は中止



▲TOKYO GLOBAL GATEWAY(江東区青海)

## 【拡大】学童保育クラブを整備します (1億3,251万円)

全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を各小学校内を中心に整備します。

令和4年度は、西小菅小学校内と白鳥小学校内に学童保育クラブを整備していきます。

## わくわくチャレンジ広場 (2億4,026万円)

全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごせるよう、対象学年や実施日時の拡大を図ります。

令和4年度は、引き続き小学校6校のわくわくチャレンジ広場の運営の一部を委託し、児童指導サポーターと事業者が連携して児童の見守りを行います。



## 【拡大】発達障害の可能性のある子どもへの支援体制の充実 (9,868万円)

発達上の課題がある子どもに対して教員が巡回指導を行う「特別支援教室」を全小・中学校で実施しています。

令和4年度は、自閉症・情緒障害特別支援学級(固定学級)を高砂小学校及び高砂中学校に加え、新たに清和小学校及び立石中学校に設置し、小・中学校各2校で実施します。

また、小学校の特別支援教室で、タブレット端末を活用した多層指導モデル(デジタル版MIM)を実施するほか、発達障害の可能性のあるお子さんとの関わり方に困っている保護者の方向けにペアレントトレーニングを試行的に実施します。

※多層指導モデル(MIM)とは  
学習障害の子どもがつまづきやすい特殊音節に対し、語句を正しく読む、書くことができるよう、3層構造からなる指導モデルのこと。